

与論（及び奄美大島）での

シンポジウム及び市民公開講座活動

1 奄美大島(名瀬)での講演会・シンポジウム

1) 2003年3月23日

名瀬市役所大会議室

奄美大島日本復帰50周年記念講演会「あまみの空と海」

講師：鹿児島大学理学部教授 市川敏弘、

輝北天球館館長 西井上剛資

総合司会、コメンテーター 塚原潤三

70名を超える市民が参加

2) 2004年3月28日

名瀬市役所大会議室

シンポジウム「奄美群島の人々と鹿児島大学との連携

---連携を深めるための提言---

講師：鹿児島大学 総合研究博物館 大木公彦、

水産学部附属海洋資源環境教育研究センター 野呂忠秀

多島圏研究センター 河合 溪

理学部 塚原潤三

70名を超える市民が参加

3) 今後の予定

これから実施予定のシンポジウムは以下のとおりである。

日時： 2005年3月27日(日) 13:00~15:30

場所： 名瀬市役所会議室(4階)

講師、講演題目： 「奄美群島の人々と鹿児島大学との連携

--- ひとびとの暮らしと未来への期待 ---」

皆村武一 (鹿児島大学法文学部 教授)

「持続的・自立的な奄美の創造にむけて」

桑原季雄 (鹿児島大学法文学部 教授)

「奄美と人類学的研究および大学教育の可能性」

田島康弘 (鹿児島大学教育学部 教授)

「奄振事業の展開と人の移動から見た奄美社会の特質」

越間 誠 (写真家(日本写真家協会会員)(株)コシマ・プロダクション代表取締役、

島尾敏雄 (顕彰会会長、名瀬市在住) 「奄美の暮しとこれからの展望」

総合司会・コメンテーター： 塚原潤三 (鹿児島大学理学部 教授)

2 与論でのシンポジウム及び市民講座活動

1) 「ゆんぬまちづくり塾」等での講演課題

(小島嶼自律性研究プロジェクト:与論プロジェクトの中間報告を含む)

会場 中央公民館または与論町防災センター等

年月日	講演者	講演テーマ	参加者数
2003.11.10	河合 溪	「与論島における鹿児島大学多島圏研究センターの取り組み」	約 30 名
2003.11.21	宮菌夏美	「東南アジアの医療事情と国際協力援助」	約 20 名
2003.12.22	野田伸一	「与論島における広東住血線虫」	約 35 名
2003.12.22	八田明夫	「生きている有孔虫について」	約 35 名
2004. 1. 17	野呂忠秀	「鹿児島湾の水質環境と赤潮の発生」	約 25 名
2004. 1. 29	山中有一	「情報とエネルギーの側面から見た海洋環境」	約 10 名
2004. 2. 2	長嶋俊介	「亜熱帯域としまおこし課題 ～与論島の個性の再発見～」	約 20 名
2004.6. 5	塚原潤三	「琉球弧深海底のホットスポットに生息する 不思議な生物群集」	約 15 名
2004.12.11	長嶋俊介	「世界の島の子ども達」	約 20 名

2) 鹿児島大学多島圏研究センター

「小島嶼自律性研究プロジェクト(与論プロジェクト)」成果報告
並びに市民公開講座

2005.2.11	総合シンポジウム(観光・振興・海域環境)	約 35 名
	与論島沿岸に分布する海藻類と水質環境	野呂忠秀
	観光人類学の観点から見た与論島の観光	桑原季雄
	亜熱帯・温帯境界域と地域振興・ガバナンス課題	長嶋俊介
2005.2.19	市民講座・農学シンポジウム	約 30 名
	与論島における在来作物の遺伝変異	一谷勝之
	南西諸島における熱帯果樹栽培の現状と問題点	日高哲志
2005.2.26	市民講座・珊瑚講演会	約 30 名
	与論島のサンゴの白化現象とその回復	塚原潤三
2006.3.11	総括シンポジウム(健康と海岸管理)	約 20 名
	研究総括並びに与論島における広東住血線虫	野田伸一
	与論島における海岸ゴミ実態調査	河合 溪